

2020年1月24日

報道関係各位

ソニー株式会社
株式会社大和証券グループ本社

**ベンチャー企業支援を行うソニーと大和証券グループの投資ファンド
「Innovation Growth Fund」が追加資金調達を実施**

ソニー株式会社(以下、ソニー)と、株式会社大和証券グループ本社(以下、大和証券グループ)の子会社である株式会社大和キャピタル・ホールディングスは、両社による共同ファンド組成のための合弁会社、Innovation Growth Ventures 株式会社(以下、IGV)を2019年3月に設立しました。この度 IGV は今後大きな成長が期待できる産業分野のベンチャー企業を対象とした投資ファンド「Innovation Growth Fund I L.P.」(以下、本ファンド)の出資持分の追加募集を実施し、その運用額を拡大しました。

ソニーは、2016年7月にコーポレートベンチャーキャピタル Sony Innovation Fund を設立し、日本と北米、欧州に拠点を置き、AI やロボティクスを始めとした事業領域におけるスタートアップ企業を対象とした投資活動を行ってきました。これまでの活動で約60件の投資を行ってきましたが、ベンチャー企業を対象とした投資活動を拡大、推進させていくことを目指して、本ファンドの組成にいたしました。

本ファンドには、2019年6月の第一次募集で株式会社三井住友銀行、大阪商工信用金庫等の金融機関、三菱UFJリース株式会社や学校法人等が本ファンドのリミテッドパートナーとして参画しました。そして、この度の追加クロージングで新たに大阪厚生信用金庫、株式会社横浜銀行、株式会社滋賀銀行、学校法人岩崎学園、SMBC 日興証券株式会社、三井住友信託銀行株式会社の参画が決まり、2019年12月末時点において160億円の規模となりました。

IGV は、ソニーと大和証券グループそれぞれのグループの基盤も活用しながら本ファンドの投資先の支援を行うことで、ファンドのパフォーマンスを最大化することを目指しています。

※本プレスリリースは、ソニーと大和証券グループによる投資運用業務の提供や特定の運用商品の勧誘を目的とするものではありません。また、ソニーと大和証券グループは、本プレスリリースにより上記のファンド等について勧誘を行うものではありません。